

令和7年(2025年)9月12日

保護者の皆様

札幌市立羊丘中学校
校長 高橋 正幸

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

処暑の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育に対し、御理解と御協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、4月18日に本校の第3学年におきまして、全国学力・学習状況調査を実施したところです。義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること、学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としております。

つきましては、3教科（国語、数学、理科）に関する調査結果（別紙）と生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果の概要（裏面）についてお知らせするとともに、今回の調査における課題と改善の方向等についてまとめましたので、御報告いたします。調査結果の概要において「上回っている」「下回っている」という表現を使っておりますが、その基準は以下を参照してください。

○全国平均正答率を基準として

- ・上回っている +3.1 ポイント以上
- ・やや上回っている +3 ポイント以内
- ・ほぼ同程度
- ・やや下回っている -3 ポイント以内
- ・下回っている -3.1 ポイント以上

調査結果につきましては、本校ホームページ（<https://www.hitsujigaoka-j.sapporo-c.ed.jp>）においても閲覧できますので、御活用ください。

なお、標記の件についての問合せは羊丘中学校（851-9352）教頭までお願いいたします。

本校の概要

【区分及び領域】

□「話すこと・聞くこと」の
平均正答率

・全国平均を上回っている。

□「書くこと」の平均正答率

・全国平均を上回っている。

□「読むこと」の平均正答率

・全国平均を上回っている。

□「言葉の特徴や使い方に関
する事項」の平均正答率

・全国平均とほぼ同程度で
あるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

●資料や機器を用いる
などして、自分の考え
が分かりやすく伝わ
るように表現を工夫
すること。

●根拠を明確にしなが
ら、自分の考えが伝わ
る文章になるように
工夫すること。

●文章の構成や展開、表
現の効果について、根
拠を明確にして考え
ること。

●事象や行為、心情を表
す語句の量を増すと
ともに、語句の辞書的
な意味と文脈上の意
味との関係に注意し
て話や文章の中で使
うことを通して、語感
を磨き語彙を豊かに
すること。

改善の方向

○紹介や報告など伝えたい
ことを話したり、そ
れらを聞いて質問した
り意見などを述べたり
する活動を充実させ
る。

○記述式の問題で正答率
が下がり、無回答も増
える傾向がある。その
ため、本や資料から文
章や図表などを引用し
て説明したりするな
ど、根拠を明確にしな
がら考えたことを書く
活動を充実させる。

○文章の構成や展開、表
現の効果について自分
の考えを書いたり発表
したりする際に、自分
の考えを支える根拠と
なる段落や部分などを
挙げる活動を充実させ
る。

○「ことば」にこだわりを
もたせ、「分からなかつ
たら調べる」習慣を身
に付けさせる。また、辞
書引きにより語句の量
を増やすことや、語句
の理解を深める活動を
充実させる。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

□「数と式」の平均正答率
・全国平均を上回っている。

□「関数」の平均正答率
・全国平均を上回っている。

□「図形」の平均正答率
・全国平均を上回っている。

□「データの活用」の平均正答率
・全国平均を上回っている。

●目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。

●一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができる。

●統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができる。

●相対度数の意味を理解している。

●不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

○数量の関係や法則を表し、その意味の読み取りに関心をもたせ、理由や考えを説明し合う数学的活動を取り入れる。

○式や対応表を関連付けて考えることで、一変化の割合への理解を深める。

○基本的な図形の概念や性質を理解したり、図形についての知識及び技能を活用する数学的活動を取り入れる。

○度数分布表の読み取り方を理解し、必要な情報を選択して問題解決する場面を設定する。

○起こり得る場合を樹形図等を用いて順序よく整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、その判断理由を説明する数学的活動を取り入れる。

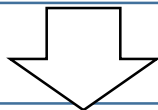
中学校理科	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	【区分及び領域】 □「エネルギー」を柱とする領域の平均正答率 ・全国平均に比べ「ほぼ同程度であるが、やや上回っている」 □「粒子」を柱とする領域の平均正答率 ・全国平均に比べ「上回っている」 □「生命」を柱とする領域の平均正答率 ・全国平均に比べ「ほぼ同程度であるが、やや上回っている」 □「地球」を柱とする領域の平均正答率 ・全国平均に比べ「上回っている」	●知識・技能について ・身近な道具や器具について探究する姿勢をもとに知識が概念として身に付くようにする。 ・物質の性質や実験器具の操作方法について身に付くようする。 ・身近な現象を知識として身に付くようにする。 ●思考・判断・表現について ・科学的に探究する学習場面について知識・技能を活用し仮説を予想する。 ・他者が発表する学習場面において探究から生じた疑問や身近な生活との関連に着目し、振り返りを表現する。 ・知識及び技能を基に、予想が反映された振り返りについて問うことができ、探究の見通しについて解釈することができる。	○実験、観察を中心とした学習場面を多く展開し、身の周りで起きている現象を知識として説明できるようにする。 ○身近な現象に興味を持ち、それらについてお互いが質問したり意見などを述べたりする活動を充実させる。 ○知識を概念として定着させるために、練習機会とその時間を確保する。 ○最新の情報を身に付けるために、インターネットを中心とした調べ学習の充実を図る。 ○資料や図表などをもとに仮説を説明したりするなど、根拠を明確にしながら考えたことを発表する活動を充実させる。

質問紙調査結果から

全国平均との比較で顕著な差が見られる項目を取り上げています。○は上回っている項目、●は下回っている項目を記載しております。

- 「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均を上回っている。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均を上回っている。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均を上回っている。
- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均をやや上回っている。
- 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」の質問に「よくある」と答えた生徒の割合は、全国平均を上回っている。
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均を下回っている。
- 「将来の夢や目標をもっていますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均をやや下回っている。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均をやや下回っている。

課題と改善の方向



各教科においては、別紙のように正答数の平均が概ね全国平均を「上回っている」「やや上回っている」という結果になっています。今後も本校の学習状況における課題を共有し、各教科で「自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する学習」の充実に向けて、より一層努めてまいります。

質問調査用紙の結果では、自己肯定感や集団生活における前向きな回答が見られました。また、昨年度よりも人の役に立つことや友達関係をはじめ、学校生活の満足度における数値が上昇しました。一方、先生との良好な関係作りについて課題があります。生徒とのコミュニケーションをこれまで以上に大切にしながら、安心して過ごせる学校作りに努めてまいります。

さらに、将来の展望や地域・社会貢献に向けた具体的な考え方においては課題が残っていることが分かりました。キャリア教育の見直しを図りながら、職業観を育む指導をより一層充実させると同時に、コミュニティ・スクールを活用し、生徒会活動・特別活動・総合的な学習の時間において、地域との関わりを充実させる仕組みを構築していけるように計画したいと思います。そして、本校の教育目標である「考える人 心豊かな人 たくましい人 公共につくす人 思いやりのある人」を体現できるような生徒の育成に尽力していきたいと考えています。

今回の調査結果を学習場面に限らず、一つ一つの学びを充実させ、学校の教育活動全般にも有効活用し、生徒の力をバランスよく育み、「学ぶ力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」に努めてまいります。今後とも本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。